

1 新規事業

(1) 認知症高齢者等位置情報提供サービス費用助成制度

概要：認知症高齢者にGPS端末機を携帯していただくことで居場所を確認できる位置情報提供サービスの利用に関する初期費用の一部を助成する。

効果：認知症高齢者等の居場所が確認できるため、早期発見と安全確保に役立ち、認知症高齢者等を介護する家族の負担を軽減し、在宅福祉の増進を図る。

(2) 電子@連絡帳ビデオ会議システム

概要：電子連絡帳利用者とビデオ会議を実施するためのビデオ会議主催者用のライセンス利用料。

効果：新型コロナウイルス感染症感染拡大下においてセキュリティ対策が取れたビデオ会議を実施できる。

(3) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定事業福祉計画

概要：第9期東郷町高齢者福祉計画を策定する。（計画期間：令和6年～令和8年度）

効果：令和8年度までの施策の方向と目標を明確にし、計画で定める基本理念の実現に向けて積極的に取り組み、すべての高齢者が住み慣れた地域で心身共に健康で豊かな生活を送ることが出来る。

(4) シニア世代向けスマホ教室

概要：白鳥・北山台・白土・清水・西白土の5地区の協力のもと、企画情報課と連携し、高齢者向けのスマホ教室を開催する。

効果：高齢者のデジタルデバイドを解消することで、社会的な孤立を未然に防ぐとともに、災害や緊急時等の安全安心の確保に繋げる。

2 見直し事業

(1) 栄養パトロール事業

概要：管理栄養士等により、健康不明層（医療未受診、健診未受診、介護サービス未利用の者）の実態把握を行うため、訪問を中心とした把握事業を行う。健康アンケートを送付し、訪問にてアンケート回収を行い、生活状況や身体状況について把握する。把握後は、必要な助言を行い、本人の状態に見合った医療・介護・介護予防活動へつなげる。

効果：健康不明層（医療未受診、健診未受診、介護サービス未利用の者）の実態把握を行い、支援が必要な者を発見し、早期介入を行うことで要介護状態になることを防ぐ。

見直し点：健康不明層のみを対象とし、アンケート回収時の訪問で関係性の構築を図りながら、今後の個別支援に繋げる。